

1. 背景とねらい

生産現場で問題になっている微斑モザイク病は、花に淡い退色した斑点や増色した条線を、葉に楕円形の退緑色の斑紋を生じ、減収する病害で(図1)、品種により病徴の部位や発病の程度が異なります。そこで、チューリップに発生する微斑モザイク病の品種ごとの病徴や出現部位、抵抗性程度をデータベース化するとともに、その他15病害について診断や防除に利用できるウェブサイトを作成しました。

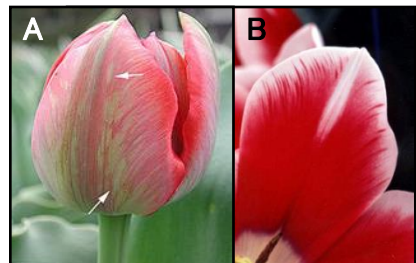


図1 微斑モザイク病の病徴
A)退色斑、B)増色条線

2. 成果の内容

- 1) 16病害(モザイク病、微斑モザイク病、条斑病、えそ病、かいよう病、黒腐病、褐色腐敗病、褐色斑点病、灰色かび病、葉腐病、皮膚病、根腐病、青かび病、緑かび病、黒かび病)について、病原体、病徴写真、発生生態、および防除法について解説しています。
- 2) 520品種の微斑モザイク病と条斑病に対する抵抗性程度、また、微斑モザイク病の374品種の病徴発現部位と334品種の病徴写真を閲覧できます(図2)。さらに、両病害の診断や罹病株の抜き取りのポイント、まぎらわしい病徴を示す病害についても解説しています。

MENU

- [トップページ](#)
- [チューリップ病害虫の種類](#)
- 病徴による病名検索
 - [萌芽期 \(PDF 224KB\)](#)
 - [茎葉伸長期 \(PDF 424KB\)](#)
 - [開花期 \(PDF 400KB\)](#)
 - [球根肥大期\(茎葉黄化期\) \(PDF 274KB\)](#)
 - [球根 \(PDF 339KB\)](#)
- 病害虫防除法
 - [栽培時期順](#)
 - [個別防除技術](#)
- [品種抵抗性データベース!!](#)
 - [微斑モザイク病と条斑病\(各品種の病徴写真も含む\)](#)

微斑モザイク病と条斑病に対する品種抵抗性と微斑モザイク病の病徴発現部位

※年の品種名をクリックすると微斑モザイク病の病徴写真へジャンプします。

※抵抗性の評価は中程度から可能性があります。空欄部分は未確認という意味です。病徴写真は無病徴という意味ではありません。

品種名	系統	抵抗性		花		葉(黄化期)	球根モザイク
		モザイク病	条斑病	蕾退色斑	開花後増色斑		
アイロー	イ	○	△	△	△		△
アイロー ガローリ	T	○	△	△	△		△
アイロー ホワイト	DT	○	○	△	△		△
アイ キョウチネン	T	×	○	○	△		△
アイクレリ	S	○	○	○	△		△
アイクレリ エウロパ	S	○	○	○	△		△
アイクレリ マルティン	S	○	○	○	△		△
アイクレリ マルティン	DL	△	×	×	△		△
アイクレリ	LL	×	×	×	△		△
アイクレリ	T	○	○	○	△		△
アイスタ ニールセン	SL	△	○	○	△		△
アイスタ	T	○	△	△	△		△
アイスタ	T	△	○	○	△		△
アイスタ	DR	△	×	×	△		△
アイスタ	SL	×	×	×	△		△
アイスタ	T	△	○	○	△		△
アイスタ	T	×	○	○	△		△
アイスタ	DE	△	×	×	△		△
アイスタ	DL	△	○	○	△		△
アイスタ	RE	△	○	○	△		△
アイスタ	T	○	△	△	△		△
アイスタ	DR	○	○	○	△		△

図2 ウェブサイトの内容の一例

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/ennken/enkentop080401.html>

3. 成果の活用

本ウェブサイトを活用して抵抗性品種を利用することにより、病害の発生を抑えることができます。また、正しい診断により効率的な病株の抜き取りなど、的確な防除対策を講じることができます。